

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成21年11月13日
【四半期会計期間】	第31期第2四半期（自平成21年7月1日至平成21年9月30日）
【会社名】	元気寿司株式会社
【英訳名】	GENKI SUSHI CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 三澤 哲夫
【本店の所在の場所】	栃木県宇都宮市大通り2丁目1番5号
【電話番号】	028(632)5711
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長兼経理部長 須藤 恭成
【最寄りの連絡場所】	栃木県宇都宮市大通り2丁目1番5号
【電話番号】	028(632)5711
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長兼経理部長 須藤 恭成
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第30期 第2四半期 連結累計期間	第31期 第2四半期 連結累計期間	第30期 第2四半期 連結会計期間	第31期 第2四半期 連結会計期間	第30期
会計期間	自平成20年 4月1日 至平成20年 9月30日	自平成21年 4月1日 至平成21年 9月30日	自平成20年 7月1日 至平成20年 9月30日	自平成21年 7月1日 至平成21年 9月30日	自平成20年 4月1日 至平成21年 3月31日
売上高(千円)	14,386,073	13,201,551	7,269,703	6,574,697	27,260,000
経常利益(千円)	624,864	301,708	470,286	169,943	842,150
四半期純利益または当期純損失 () (千円)	294,199	153,598	255,817	71,049	344,731
純資産額(千円)	-	-	6,741,087	6,089,002	6,023,575
総資産額(千円)	-	-	13,352,814	13,388,001	12,774,134
1株当たり純資産額(円)	-	-	763.23	689.45	682.02
1株当たり四半期純利益金額または 1株当たり当期純損失金額 () (円)	33.31	17.39	28.96	8.04	39.03
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-	-	-
自己資本比率(%)	-	-	50.5	45.5	47.2
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	401,201	621,867	-	-	688,369
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	289,180	339,913	-	-	616,978
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	295,561	286,456	-	-	446,991
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	-	-	3,641,469	3,401,763	2,841,461
従業員数(人)	-	-	629	672	684

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第30期第2四半期連結累計(会計)期間及び第31期第2四半期連結累計(会計)期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 第30期連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、その他の部門として、うどん事業が当社の事業に加わっております。

3【関係会社の状況】

当第2四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成21年9月30日現在

従業員数（人）	672 (2,850)
---------	-------------

（注）従業員数は就業人員（正社員、契約社員、嘱託社員、研修社員）であり、臨時従業員数（パートナー社員）は（ ）内に当第2四半期連結会計期間の平均人員を外数で記載しております。

(2) 提出会社の状況

平成21年9月30日現在

従業員数（人）	647 (2,592)
---------	-------------

（注）従業員数は就業人員（正社員、契約社員、嘱託社員、研修社員）であり、臨時従業員数（パートナー社員）は（ ）内に当第2四半期会計期間の平均人員を外数で記載しております。

第2【事業の状況】

1【販売の状況】

当社グループ(当社及び連結子会社)は、最終消費者へ直接販売する飲食事業を行っておりますので、生産及び受注の状況は記載しておりません。

販売実績

当第2四半期連結会計期間の販売状況を事業部門ごとに示すと、次のとおりであります。

事業部門の名称	金額(千円)	対前年同期比(%)
回転寿司	6,310,293	10.8
その他	264,403	35.6
合計	6,574,697	9.6

(注)金額には、消費税等は含まれておりません。

2【事業等のリスク】

当第2四半期連結会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日～平成21年9月30日）におけるわが国経済は、在庫調整の進捗等を背景に輸出や生産など一部に持ち直しの動きがみられるものの、企業収益や雇用情勢の悪化が続いており、景気は予断を許さない状況にあります。

外食産業におきましては、企業間の競争・競合の激化に加え、雇用・所得環境の悪化からお客様の節約志向や低価格志向が強まっており、経営環境が益々厳しくなっております。

このような状況の中で当社グループは、「お客様目線でサービスレベルの向上」をテーマに人材教育や安全衛生の強化など営業レベルの向上に取り組んでまいりました。

店舗展開につきましては、安定した収益確保のため、出店を厳選して行ってまいりました。当第2四半期連結会計期間においては、新設店2店舗を出店し、一方で、不採算店等3店舗を退店いたしました。これにより総店舗数は207店舗となりました。また、改装につきましては、新業態「釜や本舗」への業態転換を含め、5店舗を実施いたしました。

営業面につきましては、客数減少に歯止めをかけるため、接客サービスレベルの向上に取り組むとともに、価格帯や商品構成の見直しにより客単価の引き下げを行ってまいりました。また、あらゆる経費の見直しに取り組んで損益分岐点の切り下げに努めてまいりました。

商品面につきましては、定番商品を絞り込みフェア商品・スポット商品を多く採用し、商品のバリエーションを増やすなど、飽きさせないメニュー構成とし他社との差別化を図ってまいりました。

海外子会社展開につきましては、親会社からの支援強化や従業員の日本での研修により組織力の強化を図るとともに積極出店に向けて物件の選定を行ってまいりました。

海外フランチャイズ展開につきましては、フランチャイズ先との良好な関係維持と新規出店の促進を図るため、派遣指導等を充実するとともに季節メニューの紹介や食材の販売強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間の業績は、売上高65億7千4百万円（前年同四半期比9.6%減）、営業利益1億7千万円（前年同四半期比61.4%減）、経常利益1億6千9百万円（前年同四半期比63.9%減）、四半期純利益7千1百万円（前年同四半期比72.2%減）となりました。

事業部門ごとの業績につきましては、回転寿司部門の売上高は63億1千万円と前第2四半期連結会計期間に比べ7億6千4百万円（10.8%）減少となりました。また、その他の部門の売上高は2億6千4百万円と前第2四半期連結会計期間に比べ6千9百万円（35.6%）増加となりました。

(2) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、第1四半期連結会計期間末に比べ1億7千8百万円減少し、133億8千8百万円となりました。負債合計は、第1四半期連結会計期間末に比べ2億2千2百万円減少し、72億9千8百万円となりました。純資産合計は、第1四半期連結会計期間末に比べ4千4百万円増加し、60億8千9百万円となりました。この結果、1株当たり純資産額は5.06円増加し、689.45円となり、自己資本比率は0.9ポイント上昇し、45.5%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、第1四半期連結会計期間末に比べ1億9千2百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には34億1百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、3億4千4百万円（前年同四半期は3億8千2百万円）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1億5千6百万円、減価償却費1億3千2百万円による増加があったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、1億9千5百万円（前年同四半期は5千9百万円）となりました。これは店舗の新設等による支出2億4千5百万円があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、3億3千6百万円（前年同四半期は6億8千3百万円の取得）となりました。これは、長期借入金の約定返済3億2千2百万円を行ったこと等によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

設備の新設、除却等の計画に記載した事項を除いては、設備の重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

重要な設備の新設等の完了

前四半期連結会計期間末において計画中であった重要な設備の新設等のうち、当第2四半期連結会計期間において完了したものは次のとおりであります。

会社名	事業部門	設備の内容	取得金額(千円)	完成年月
提出会社	回転寿司	新設店舗1店	42,060	平成21年9月
提出会社	その他	業態変更店舗1店	23,442	平成21年7月
提出会社	回転寿司	改装店舗3店	57,362	平成21年7月～平成21年9月
GENKI SUSHI USA, INC.	回転寿司	新設店舗1店	89,808	平成21年9月
GENKI SUSHI USA, INC.	回転寿司	改装店舗1店	30,508	平成21年9月

(注) 金額には、消費税等は含まれておりません。

重要な設備の新設等

前四半期連結会計期間末において計画中であった設備の新設等について、次のとおり変更しております。

会社名	事業部門	設備の内容	投資予定金額		資金調達方法	増加店舗数(店)
			総額(千円)	既支払額(千円)		
提出会社	回転寿司	新設店舗	329,000	13,600	自己資金	5
提出会社	回転寿司	改装店舗	270,000	-	自己資金	-
GENKI SUSHI USA, INC.	回転寿司	新設店舗	85,000	2,564	自己資金	1

(注) 1. 金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 上記計画には、当第2四半期連結会計期間中に新たに確定した設備の新設等が含まれております。

3. 当第2四半期連結会計期間において完了したものについては、上記計画から除いております。

月別出店計画

年月	平成21年10月	11月	12月	平成22年1月	2月	3月	合計
店舗数(店)	1	1	-	-	4	-	6

重要な設備の除却等

特に記載すべき事項はありません。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	33,000,000
計	33,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成21年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成21年11月13日)	上場金融商品取引所名 または登録認可金融商 品取引業協会名	内容
普通株式	8,882,908	同左	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数100株
計	8,882,908	同左	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高(千円)
平成21年7月1日～ 平成21年9月30日	-	8,882	-	1,151,528	-	1,344,671

(5) 【大株主の状況】

平成21年9月30日現在

氏名または名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(株)グルメ杵屋	大阪府大阪市住之江区北加賀屋3-4-7	3,000	33.77
(株)足利銀行	栃木県宇都宮市桜4-1-25	402	4.52
元氣寿司取引先持株会	栃木県宇都宮市大通り2-1-5	362	4.07
(株)みずほ銀行	東京都千代田区内幸町1-1-5	107	1.21
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	東京都中央区晴海1-8-11	99	1.11
東京海上日動火災保険(株)	東京都千代田区丸の内1-2-1	88	0.99
元氣寿司従業員持株会	栃木県宇都宮市大通り2-1-5	67	0.76
三菱UFJ信託銀行(株)	東京都千代田区丸の内1-4-5	54	0.61
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	東京都港区浜松町2-11-3	45	0.51
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口1)	東京都中央区晴海1-8-11	43	0.48
計	-	4,270	48.07

(注) 1. 上記の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は、以下のとおりであります。

日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口) 76千株

日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口) 45千株

日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口1) 43千株

2. 上記のほか当社所有の自己株式51千株(0.57%)があります。

(6)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成21年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 51,200	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,812,000	88,120	-
単元未満株式	普通株式 19,708	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	8,882,908	-	-
総株主の議決権	-	88,120	-

【自己株式等】

平成21年9月30日現在

所有者の氏名または名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
元気寿司株式会社	栃木県宇都宮市大通り2-1-5	51,200	-	51,200	0.57
計	-	51,200	-	51,200	0.57

2【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年4月	5月	6月	7月	8月	9月
最高(円)	1,228	1,229	1,209	1,209	1,223	1,243
最低(円)	1,151	1,176	1,178	1,177	1,200	1,182

(注) 最高・最低株価は、東京証券取引所(市場第一部)におけるものであります。

3【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書提出日までの役員の異動は、次のとおりであります。

退任役員

役名	職名	氏名	退任年月日
取締役		山本 幸成	平成21年9月14日

第5【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、前第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び前第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び前第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表並びに当第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,401,763	2,841,461
商品及び製品	273,183	213,140
原材料及び貯蔵品	72,227	55,739
その他	1,048,545	1,122,251
貸倒引当金	1,964	1,657
流動資産合計	4,793,755	4,230,933
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,354,953	6,243,488
土地	1,427,332	1,427,332
その他	1,551,939	1,421,845
減価償却累計額	5,344,539	5,287,844
有形固定資産合計	3,989,686	3,804,822
無形固定資産		
無形固定資産	164,747	182,843
投資その他の資産		
差入保証金	3,290,333	3,316,738
その他	1,204,365	1,302,322
貸倒引当金	54,887	63,526
投資その他の資産合計	4,439,812	4,555,534
固定資産合計	8,594,245	8,543,200
資産合計	13,388,001	12,774,134

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	909,995	840,149
短期借入金	1,221,106	1,123,216
未払法人税等	112,000	105,000
賞与引当金	255,000	180,000
その他	1,288,804	1,263,584
流動負債合計	3,786,906	3,511,950
固定負債		
長期借入金	2,385,488	2,118,706
その他	1,126,604	1,119,902
固定負債合計	3,512,092	3,238,608
負債合計	7,298,998	6,750,559
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,151,528	1,151,528
資本剰余金	1,344,671	1,344,671
利益剰余金	3,807,900	3,707,293
自己株式	69,149	68,880
株主資本合計	6,234,950	6,134,612
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	339	47
為替換算調整勘定	146,288	110,990
評価・換算差額等合計	145,948	111,037
純資産合計	6,089,002	6,023,575
負債純資産合計	13,388,001	12,774,134

(2)【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	14,386,073	13,201,551
売上原価	5,891,149	5,191,828
売上総利益	8,494,923	8,009,722
営業収入	135,175	123,513
営業総利益	8,630,099	8,133,236
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	3,880,001	3,793,436
その他	4,214,019	4,061,901
販売費及び一般管理費合計	8,094,021	7,855,338
営業利益	536,077	277,898
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,585	973
為替差益	10,090	-
仕入割引	54,788	43,991
受取賃貸料	23,927	25,396
その他	18,802	22,322
営業外収益合計	111,195	92,684
営業外費用		
支払利息	21,803	26,611
為替差損	-	41,710
その他	605	552
営業外費用合計	22,408	68,874
経常利益	624,864	301,708
特別利益		
固定資産売却益	2,500	3,000
貸倒引当金戻入額	-	8,332
受取補償金	-	14,070
特別利益合計	2,500	25,402
特別損失		
固定資産除却損	1,054	5,651
減損損失	9,599	-
賃貸借契約解約損	48,758	11,712
特別損失合計	59,412	17,364
税金等調整前四半期純利益	567,952	309,747
法人税、住民税及び事業税	165,925	94,058
法人税等調整額	107,826	62,091
法人税等合計	273,752	156,149
四半期純利益	294,199	153,598

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	7,269,703	6,574,697
売上原価	2,988,737	2,617,660
売上総利益	4,280,966	3,957,036
営業収入	66,789	58,332
営業総利益	4,347,755	4,015,369
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,947,700	1,902,357
その他	1,957,573	1,942,353
販売費及び一般管理費合計	3,905,274	3,844,711
営業利益	442,481	170,657
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,028	733
仕入割引	27,003	22,368
受取賃貸料	11,715	14,318
その他	9,696	7,822
営業外収益合計	51,444	45,243
営業外費用		
支払利息	11,302	14,039
為替差損	12,106	31,482
その他	229	434
営業外費用合計	23,639	45,957
経常利益	470,286	169,943
特別利益		
固定資産売却益	2,500	-
貸倒引当金戻入額	-	307
特別利益合計	2,500	307
特別損失		
固定資産除却損	279	3,345
減損損失	9,599	-
賃貸借契約解約損	24,899	10,712
特別損失合計	34,778	14,058
税金等調整前四半期純利益	438,008	156,192
法人税、住民税及び事業税	138,363	73,825
法人税等調整額	43,827	11,317
法人税等合計	182,190	85,143
四半期純利益	255,817	71,049

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	567,952	309,747
減価償却費	247,679	258,334
減損損失	9,599	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	2,453	8,332
賞与引当金の増減額(は減少)	90,000	75,000
受取利息及び受取配当金	3,585	973
支払利息	21,803	26,611
固定資産除売却損益(は益)	1,445	2,651
賃貸借契約解約損	41,704	11,000
たな卸資産の増減額(は増加)	94,023	77,514
仕入債務の増減額(は減少)	68,243	76,157
その他	119,596	57,482
小計	514,296	730,163
利息及び配当金の受取額	3,641	1,024
利息の支払額	21,809	26,813
法人税等の支払額	94,926	82,507
営業活動によるキャッシュ・フロー	401,201	621,867
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	272,035	359,969
有形固定資産の売却による収入	2,500	3,000
無形固定資産の取得による支出	3,909	380
差入保証金の差入による支出	136,186	84,787
差入保証金の回収による収入	122,540	109,333
その他	2,090	7,109
投資活動によるキャッシュ・フロー	289,180	339,913
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,000,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	649,630	635,328
リース債務の返済による支出	-	24,170
配当金の支払額	52,996	52,991
その他	1,812	1,054
財務活動によるキャッシュ・フロー	295,561	286,456
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,332	8,108
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	412,914	560,302
現金及び現金同等物の期首残高	3,228,555	2,841,461
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,641,469	3,401,763

【表示方法の変更】

当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
(四半期連結貸借対照表関係) 「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成20年8月7日 内閣府令第50号)が適用になることに伴い、前第2四半期連結会計期間において、「半製品」「原材料」「貯蔵品」として掲記されていたものは、当第2四半期連結会計期間では「商品及び製品」「原材料及び貯蔵品」に区分掲記しております。なお、前第2四半期連結会計期間の「商品及び製品」「原材料及び貯蔵品」は、それぞれ257,286千円、62,182千円であります。

【簡便な会計処理】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年9月30日現在)	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年9月30日現在)
現金及び預金勘定 3,641,469千円	現金及び預金勘定 3,401,763千円
現金及び現金同等物 3,641,469	現金及び現金同等物 3,401,763

(株主資本等関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成21年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数
 普通株式 8,882,908株
2. 自己株式の種類及び株式数
 普通株式 51,206株
3. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年6月23日 定時株主総会	普通株式	52,991	6	平成21年3月31日	平成21年6月24日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年10月30日 取締役会	普通株式	52,990	6	平成21年9月30日	平成21年12月1日	利益剰余金

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)並びに前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

当連結グループは飲食事業のみを営んでおり、事業区分が単一セグメントのため該当事項はありません。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)並びに前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)

	その他の地域	計
海外売上高 (千円)	762,045	762,045
連結売上高 (千円)	-	6,574,697
連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	11.6	11.6

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

	その他の地域	計
海外売上高 (千円)	1,496,552	1,496,552
連結売上高 (千円)	-	13,201,551
連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	11.3	11.3

(注) 1. その他の地域に属する国又は地域は次のとおりであります。

その他の地域・・・米国、香港、台湾等

2. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(有価証券関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成21年9月30日)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成21年9月30日)

当連結グループは、デリバティブ取引を全く行っていないので、該当事項はありません。

(ストック・オプション等関係)

当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
1株当たり純資産額 689円45銭	1株当たり純資産額 682円02銭

2. 1株当たり四半期純利益金額等

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 33円31銭 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 17円39銭 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益(千円)	294,199	153,598
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	294,199	153,598
期中平均株式数(千株)	8,832	8,831

前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 28円96銭 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 8円04銭 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益(千円)	255,817	71,049
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	255,817	71,049
期中平均株式数(千株)	8,832	8,831

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(リース取引関係)

所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が、平成20年3月31日以前のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じて処理を行っておりますが、当第2四半期連結累計期間末におけるリース取引残高は前連結会計年度末に比べて著しい変動が認められないため、記載しておりません。

2【その他】

平成21年10月30日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

- (1) 中間配当による配当金の総額.....52,990千円
- (2) 1株当たりの金額..... 6円00銭
- (3) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成21年12月1日

(注) 平成21年9月30日現在の株主名簿に記載または記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年11月14日

元気寿司株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 岩瀬 佐千世 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 藤原 道夫 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている元気寿司株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析の手續その他の四半期レビュー手續により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手續により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、元気寿司株式会社及び連結子会社の平成20年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

追記情報

四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されているとおり、会社は、従来、営業外収益に計上していたロイヤリティ収入を、第1四半期連結会計期間より営業収入に含めて計上することに変更している。また、従来、海外フランチャイジーに対する食材等の売却に係る収入は、同売却に係る原価と相殺し、営業外収益に計上していたが、第1四半期連結会計期間より、食材等売上高は売上高に、食材等売却原価は売上原価に含めて計上している。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年11月13日

元気寿司株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 岩瀬 佐千世 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 藤原 道夫 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている元気寿司株式会社の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、元気寿司株式会社及び連結子会社の平成21年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。